

# 長崎伝習所をリノベーションする会を開催しました

## 1. 概要

35周年をむかえた長崎伝習所をより多くの方に知ってもらい、魅力的なものにするため、事業やHP等の発信方法をリノベ(作りかえ)すべく、皆様のご意見をいただくため、長崎で活躍中の方々をお迎えし、色々とお話を伺いながら伝習所をリノベーションする会を開催しました。

第1回 11/15(日) 齊藤さんとおはなし

第2回 11/22(日) 岩本さんとおはなし

第3回 11/28(土) 「こんな伝習所がいい！」を考える

アドバイザー: 森 恭佑氏      ゲスト: 齊藤 秀男氏      岩本 諭氏

## 2. 参加者 17名 (17歳~28歳)

うち 35周年検討会議外部委員 2名 塾生 2名 大学生 6名 社会人 7名

## 3. 内容



1回目 \* 琴海地区地域おこし協力隊の齊藤さんをゲストにお迎えし、現在の活動内容や、活動に対する心構え等お伺いしました。会場が和室ということもあり、和気あいあいとした空気の中、開催されました。



2回目 \* <つくる邸>をはじめとした市民活動で活躍中の岩本さんをゲストにお迎えし、市民協働についてやあぐりの丘での活動をわかりやすく教えていただきました。また、グループごとに塾を考えるワークも行いました。

3回目 \* 「こんな伝習所がいい！」を考える」会。みなさんのお悩みと伝習所の悩み(きいてカード)を、みなさんのできること・やりたいこと(おたからカード)で解決しようと「DENSHUSHO TO THE FUTURE」と題し、ワークを行いました。『伝習所を知ってもらいたい』というきいてカードに対して、あらゆる世代の方が集まる『スーパー銭湯』のおたからカードを用いて、そこでイベントを開くとより多くの人に知ってもらえるのでは。といった、具体的な案を出していただいたり、何よりも皆さんに作っていただいた「おたからカード」にユニークなものが多く、とても楽しい時間になりました。頂いた意見やアイデアを参考にさせていただきます。また、塾長になってみたいとの声もいただいておりますので、とても楽しみです。参加者の皆様、ゲストの齊藤さん岩本さん、アドバイザーに就任していただいた森さん本当にありがとうございました。

## 4. ワークショップでのアイデア

### (1) 塾 編

伝習所をリノベするにあたって、今ある伝習所「塾」はどんなものか塾長になって考えるワークを行い、予想以上にたくさんの「塾」のアイデアが生まれました。

#### ・りでいすかばりーながさき塾

長崎に住んでいても知らない良いところがたくさんありそうだから、長崎の観光スポットを増やしたり、老若男女が楽しめる場所を見つける塾。

フィールドワークを行いマップの作成。インスタを開設しての情報共有や発信。

#### ・ハッと気づこう塾

違う人種に対する差別をなくしたい。見た目で判断し、外国人が日本語を話せないと勘違いしていたと気付いたときに、ハッとした。先入観等をなくして外国人と交流できるローカルの場(ミニチュア出島のような場所)を作る。

#### ・いろんなゲストを呼んで、話を聞く塾

活躍している人の考えを多くの人に共有する会

#### ・キャラクターをつくる塾

おくちにはキャラクターがないので、地元や地域に浸透しているイベントのキャラクターをつくる塾

#### ・好きなことを発信する塾

行動を起こして盛り上げる発信する塾。長崎出身とあまり知られていない有名人や好きなこと・ものを、路面電車を貸し切るような行動を起こし、発信する。

#### ・ネオ出島塾

地域活動の担い手不足が深刻化しているため、日本で生活している外国人と地元が交流することで、外国人にとってもよい機会となり、人材を育成しながら、日本文化を世界に発信することができる塾

外国人にまちの取材をしてもらい、SNS で情報発信。日本に暮らす外国人の困りごとや相談を調査し、マップやガイドラインの作成。ミニ日本語講座。

#### ・防災教育 with ICT 塾

大規模災害が頻発する中、一人でも多くの命を守るために、防災・減災に関心を持ち“自助力”を高めるために活動する塾。他都市でのロボットや ACT を活用した取り組み事例もあるため、長崎で活用できるように学び、仲間をつのる機会にもしたい。

先進地視察。専門家等による講座等。

#### ・朝活塾

長崎のお店は、開店が遅い。まだまだ伸びしろのある朝をもっと有意義に使いたい。

サイクリング、カフェ、ヨガ、ランニング。空気の澄んだ朝は気持ちいい。

#### ・ながさき魚料理研究塾

長崎県の漁獲種数は 300 種以上といわれており、全国で1位。漁獲量は全国で2位。

魚離れの現状を改善するため、たくさんの魚を見たり食べたりしながら、長崎の料理(しっぽく料理)を学びたい。また、長崎文化の継承(魚料理や独自の食文化)に貢献したい。

#### ・ながさき深掘り塾

自分の好きな食べ物や場所など、必ず1つはあると思うので、それを深掘りする塾。  
県内の様々な場所(カフェや公園など)や食べ物などを知ってもらう。知識を深める。  
長崎の人だけでなく、海外の人や旅行者へ向けても情報を発信する。  
フリーペーパーの作成。

#### (2)「DENSHUSHO TO THE FUTURE」 編

尼崎市で開発された、尼崎で暮らす人からの「きいて」というおなやみに、まちのお宝を組み合わせて「おせっかい」するカードゲーム「アマガサキトウザフューチャー2」を参考に、伝習所のことを考えてみました。

#### ・伝習所×施設

伝習所をしてもらうには、あらゆる世代の方が集まる『スーパー銭湯』で、イベントなどを開催

#### ・伝習所×有名人

伝習所を若い世代に知ってもらうには、役所広司や仲里依紗、川口春奈さんなど長崎出身の有名人とのコラボでPR

#### ・伝習所×高校生

伝習所のホームページをもっと見やすくするには、長崎市の高校生や写真を撮るのが好きな人とコラボしてHPを飾ろう  
他の塾とのつながりをつくるためには、高校生などに活動を発信してもらってつながろう

### 5. 参加者等からの意見抜粋

#### 塾について

- ・学生視点だと、規模が大きく感じる。期間は半年程度、予算は20万程度だとよい
- ・塾名を「〇〇塾」にしなくてもよいのでは
- ・塾同士の交流などもっと促進したい

#### 情報発信について

- ・若者はHPをあまりみないのでInstagram等のアカウントを作り、もっと積極的に活動を発信すると効果的
- ・ホームページの改修はプロに尋ねるだけでいいのでは

#### その他

- ・塾づくりを気軽にサポートしてくれるコンテンツが欲しい(line相談とか)
- ・伝習所「塾」そのもののハードルがどこなのかが多くの方に伝わるとやってみようかなと思う人も出てくるのではないかな
- ・若者のやりたいアクションに対して背中を押してくれるような会であってほしい。
- ・リノベ会から実際に塾長を〇人だすなど、具体的な目標を設定し、講座から実際に塾長、塾生が誕生し、面白い伝習所が次々と生まれ、長崎での生活が楽しくなるといったところまで思い描けるとよい